

今年度の取り組み状況について

アクションプランにおけるH30年度の実施内容についての現在の進捗については、下記のとおり。

1 木材生産体制の構築

(1) 地域材安定供給プロジェクト：木材生産団地の形成

① 地域木材生産連絡調整会議（仮称）で、木材需給情報の共有、木材生産計画の調整、進捗状況把握並びに課題解決に向けたコーディネート

【進捗・現状】

○地域木材生産連絡調整会議開催

・広域振興局単位の4つの地域で設置を計画している。

（地 域）：丹後管内、中丹管内、南丹管内、京都・山城管内

（開催状況）：丹後管内：11月以降開催予定

中丹管内：10月下旬開催予定

南丹管内：8月20日開催、2回目：10月末予定

京都・山城管内：11月以降開催予定

○木材需給情報の共有、木材生産計画の調整、進捗状況把握並びに課題解決に向けたコーディネート

・来年度、京都府産木材情報共有サポートセンターの設立を見据え、ワーキングチームで引き続き必要な機能等を協議

② 府有林、市町村有林、区有林等を核とした、まとまりのある施業地の設定支援

【進捗・現状】

・現段階においては、京丹波町町有林での木材生産団地の設置を検討中であり、今後、府有林中心に設定を進める予定。

(2) 地域材安定供給プロジェクト：森林組合と木材生産業者との協業の推進

① 府有林における協業による一貫作業の率先実施

【進捗・現状】

・現在、南丹市園部町の府有林でモデル的に施業を実施予定

② 研修会の実施（京都府の地域性に合った一貫作業等）

【進捗・現状】

・11月以降府有林のモデル団地において、地域木材生産連絡調整会議メンバー等を対象とした検討会を開催予定

(3) 協業実施の拡大（一貫作業等）

【進捗・現状】

① 民間での協業実施への支援

H30から低コスト木材生産体制づくり事業により、協業事業における末木枝条の集材や植栽・苗木の運搬にかかる補助事業を創設している。今後、地域木材生産連絡調整会議等からの伐採情報を収集し、補助制度の活用も含めたPR等を行っていく。

2 木材需給情報の見える化

(1) 京都府産木材の需給情報を共有する仕組みづくり

① 仕組みの構築に向けたワーキンググループの設置(運営体制、情報共有の方法、マッチング支援方法の検討等)

【進捗・現状】

○ 京都府産木材情報共有サポートセンターの設立に向けたワーキンググループ

- ・第1回：8月28日(火) 開催
 - 論点とワーキングの進め方
 - 特別講演(群馬県森林組合連合会、岩手県森林組合連合会)
 - 木材需給のマッチングについて
- ・第2回：10月9日(火) 開催
 - 供給形態に対する需要者ニーズについて

(2) 京都府産木材情報共有サポートセンター(仮称)の設立

① センターの立ち上げ

【進捗・現状】

- 平成31年度中の立ち上げに向け、平成30年度内は残り2回、WGを開催予定。